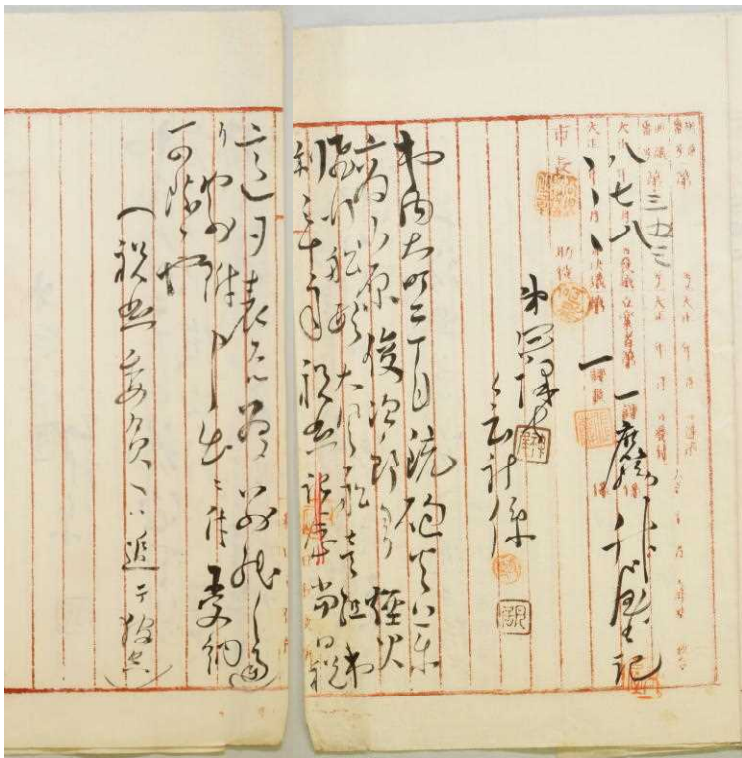


空に映えた飛行船形大風船

大正8年（1919）、市制30周年記念日を前にして、大町二丁目の銃砲火薬商から祝意を表するため飛行船形大風船1組が寄贈されました。祝典当日は、青空のもと鮮やかに映えました。



左の文書には、

「市内大町二丁目銃砲火薬商小原俊次郎ヨリ煙火飛行船形大風船壹組市制三十年祝典記念当日祝意ヲ表スル為メ別紙之通り寄附申出ニ付受納可致候也（祝典委員へハ追テ報告）」と記述されています。

「大正8年 市制30年記念祝典書類」より



紅白に彩られた飛行船形大風船の大きさは、横幅拾五尺（約4m55cm）、高サ九尺（約2m73cm）とあり、赤い飾りで縁取られた垂れ幕には「祝市制三拾年」と表記されています。